

令和3年6月定例会市議会市政報告

令和3年第3回釧路市議会6月定例会の開会にあたり、2月定例会市議会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

最初の報告は、「**新型コロナウイルス感染症への対応**」についてであります。

まずもって、市民の皆様、事業者の皆様、そして釧路市医師会、釧路歯科医師会、釧路薬剤師会をはじめとする医療関係者の皆様には、感染拡大の防止に多大なるご協力をいただいているところであり、心から感謝と敬意を表する次第であります。

釧路総合振興局管内の感染状況につきましては、3月はそれまでで最多の166名の感染者が確認され、4月には7名となりましたものの、5月は164名の感染者が確認されたところであります。

このうち釧路市内では、本年3月以降、医療機関や高齢者施設、事業所、保育所などでクラスターが発生したほか、中学校においても感染者が確認されたところあります。

こうした中、市では庁内における対策本部会議を随時開催し、感染拡大の防止に全庁を挙げて取り組んでまいりました。また、去る5月16日に北海道を対象として発出されました緊急事態宣言に伴い、市民の皆様には不要不急の外出の自粛を呼びかけるとともに、市有施設の利用方法や利用時間について制限をさせていただくなど、対応してきたところあります。

新型コロナワクチン接種につきましては、高齢者施設に入所されている方及びこれらの施設で介護に従事されている方への接種を4月19日より開始いたしました。

一般接種につきましては、80歳以上の方について、5月31日から予約を開始、6月7日から接種を開始しており、以降、年齢別に順次予約を開始し、接種を進めているところでございます。

接種体制につきましては、市内49の医療機関における個別接種、防災庁舎、阿寒町公民館、音別町コミュニティセンターを会場とする集団接種に加えまして、6月20日からは観光国際交流センターに大規模接種会場を設置いたします。これらによりまして、65歳以上の高齢者の皆様へのワクチン接種は、7月末までに完了できる見込みとなっております。

また、今後は60歳から64歳までの方に対し、今月末から予約受付を開始し、7月より接種実施予定でありました。

しかしながら、昨日、市が示したワクチン要求に対し、北海道より「現段階では、必要数の確保は難しい」との連絡があり、その後、国より、「今後は、ファイザー製のワクチンを安定的に供給することは難しい」旨のお話があったことから、今後の対応等につきまして、北海道や関係機関と早急に協議をしてまいります。

報告の第2は、「『アドベンチャートラベル・ワールドサミット2021北海道』のオンライン開催」についてであります。

本年9月に予定されております、アドベンチャートラベル・ワールドサミット（ATWS）2021北海道の開催に向けて、市ではこれまで、道内20団体で構成された北海道実行委員会、弟子屈町、釧路観光コンベンション協会、阿寒観光協会まちづくり推進機構やガイド事業者などと官民一体となり準備を進めてきたところであります。

こうした中、去る5月6日、主催者であるアドベンチャートラベル・トレードアソシエーション（ATTA）から、「ATWS2021北海道はオンラインにて開催する」との発表がございました。

今後は、これまで準備してきたことを基に、オンライン開催であっても「ひがし北海道エリアのアドベンチャートラベルの魅力」をしっかりとPRするなど、最大限の効果を発揮できるよう、主催者や北海道実行委員会の構成員と協力しながら取り組んでまいるとともに、今後の完全開催にもぜひ期待したいと考えております。

報告の第3は、「令和2年度各会計の決算状況」についてであります。

はじめに、一般会計につきましては、歳入総額約1,175億2,000万円、歳出総額約1,168億6,000万円となり、形式収支は約6億6,000万円の黒字となったところであります。

これは、歳入で、各種事業の執行に伴う国庫支出金や市債など、繰越明許費を含めて約89億1,000万円の収入不足となったものの、歳出において、扶助費の減並びに工事契約差金や経費の節減などによる執行残が、繰越明許費を含め、収入不足分を上回る約95億7,000万円となったことによるものであります。

決算剰余金のうち、繰越明許費に充当する一般財源約4,000万円と、今後の補正財源として約3億円を次年度へ繰り越すとともに、3億2,000万円を財政調整基金へ、積み立てたところであります。

特別会計につきましては、国民健康保険特別会計で、保険料収入の増や保険給付費が予算を下回ったことなどから、約1億5,000万円の剰余金が生じたので、国民健康保険事業運営基金に積立てをいたします。

介護保険特別会計の保険事業勘定では、保険料収入の増や保険給付費が予算を下回ったことなどから、約6億8,000万円の剰余金が生じたので、介護給付費準備基金に積立てをいたします。

国民健康保険阿寒診療所事業特別会計ほか、他の特別会計につきましては、概ね収支均衡する見込みとなっております。

報告の第4は、「工事発注状況」についてであります。

5月31日現在、本年度の建設事業の発注予定額は、約129億3千万円となっており、発注済額は約19億2千万円であり、発注率はおよそ15%となっております。

このうち、地元企業への発注は、金額で約18億3千万円、率ではおよそ95%であります。

今後とも地域経済の動向を念頭に置き、工事の早期発注に努めてまいります。

以上で、市政報告を終わります。